

ゆたあ〜と



『呼吸器専門外来再開』

(総合診療科 主任部長 片岡恵一郎)

平成27年6月より、松本武敏先生の呼吸器外来が試験的に開始になっておりましたが、この7月より正式に毎週金曜日に呼吸器専門外来が再開になりました。

呼吸器内科とは、主に肺の病気を診る内科です。肺炎・喘息・肺気腫・肺癌などが、呼吸器の病気にあたり、小国にも多くの呼吸器疾患の患者さんがいらっしやいます。

平成25年10月までは、週に1回呼吸器専門外来があっていたのですが、熊大医局への入局者数が減少したことから、大学からの専門医派遣が継続できなくなり、今年の6月までの約1年半は、総合診療科で呼吸器診療を継続しておりました。呼吸器の専門的な診断や、治療が必要な時は、小国の外の病院へご紹介する事もしばしばで、ご不便をおかけしておりました。

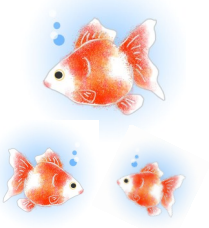
今年の4月に熊本で開催された「ケアデザインカフェ@mac hi」という多職種連携の会で、松本先生に初めてお会いしました。ご専門が呼吸器だとお聞きし、小国の現在の内科の状況をお話したところ『地域の為に何かお手伝いできれば』と願ってほしいお話をいただき、その1ヶ月ほどでトントン拍子で公立病院の呼吸器外来を担当していただける事となりました。

松本先生は、肺癌を専門とする呼吸器専門医で、現在秋津レークタウンクリニックで、在宅診療を熱心に行われています。いわば呼吸器専門医ですが、ジェネラリスト(総合診療医)でもあります。

また、熊本保険医協会の常任理事という大役を務められて傍ら、多職種連携の小さなコミュニティにも積極的に参加されておりかなり幅広く活躍されています。近くご自身のクリニックを開業される予定ですが、開業後も小国での呼吸器診療を継続していただけたらと思います。これまでは大学病院や熊本赤十字病院などの大きな病院からの派遣で医師確保をする時代でしたが、今は従来の医療スタッフ確保方法に加えて小さなコミュニティで少ない専門職をシェアする仕組みを構築していく時代になるのかもしれないですね。

発行
小国公立病院
0967-46-3111
おぐに老人保健施設
0967-46-6111
訪問看護ステーション
0967-46-6050
小国調剤薬局
0967-46-5736
ゆう薬局
0967-46-6320

8月号
平成27年8月3日



《医師紹介》 松本武敏先生 (まつもと たけとし)

- 秋津レークタウンクリニック・内科医師・熊本大学非常勤講師
- 東京都生まれ、両親の出身県にある熊本大学医学部を卒業
- 1992年：国立がんセンター東病院で肺癌診療や緩和医療に従事
- 2001年：熊本で呼吸器全般診療
- 2006年：東京で在宅ホスピス・三井記念病院での緩和ケアチームに取り組む
- 2007年：第1回30年後の医療を語る会「メディカルタウンの青写真を語る」で「在宅」を発表。その後熊本に戻り2009年から2011年宮崎市内の三次会・いしかわ内科副院長
- 2014年：2月から現職。訪問診療や生活リハビリテーションを柱に、熊本県内の小中学校で防煙授業にも取り組んでいる。



～ 認知症カフェ《ひとよこい》オープン ～

6/25(木)に公立病院の敷地内に、認知症カフェ《ひとよこい》がオープンしました。認知症カフェとは「認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解しあう場」と定義されています。小国では、県内でも早い段階でこの認知症カフェが立ち上げられました。

設立母体は「小国郷医療福祉あんしんネットワーク」という行政・社協・介護福祉施設・医師・看護師・薬剤師・地域のボランティアなどで構成されたコミュニティです。

「ひとよこい」は家に閉じこもりがちな認知症の人やその家族がゆっくりとくつろげる場所を作ろうというコンセプトで準備を進めました。

場所は公立病院の駐車場横の旧院長住宅をリフォームし、家庭的な空間と小国森林組合様よりご提供いただいた小国杉のアロマオイルで小国らしい香りも一緒に提供いたします。

※『ひとよこい』とは“ひとやすみ”と“人よ来い”をかけたものです。



開催日：毎月第2・4木曜日
 時間：午後1時～3時
 利用料：一人200円(ご家族も)
 場所：小国公立病院 旧院長住宅
 予約申し込み：小国郷医療福祉
 あんしんネットワーク事務局
 担当：有働 TEL0967-46-5575



ICT活動紹介

(感染対策委員 有住・高野)



「ICT」とは、『感染制御チーム』を言い、医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師をはじめ、事務職員や老人保健施設職員も参加し、チームとして感染症に対応している院内組織であらゆる感染症対策を講じる実働部隊です。「感染症」とは、細菌やウイルス等の病原体により起こる病気の総称で、身近なものとしてはインフルエンザや、ノロウイルス胃腸炎などがあげられます。最近話題のMERSも感染症のひとつです。(ちなみに北里柴三郎先生は感染症の研究者でした)

具体的な活動内容は、感染症を蔓延・拡散させない対策を取ったり、感染力が高い感染症を水際で阻止する事などです。近年感染症の研究が進み、薬の効きにくい菌が多く発見されるようになってきました。このようなやっかいな感染症に病院全体で対応する為に、感染症情報の分析、スタッフ自身の感染防御、感染性のある廃棄物の処理、感染症流行期の病棟面会制限発動など、多種多様な事について病院の全職員全部署に指示や勧告を行っています。

また、最先端の感染対策を高いレベルで実施する為、1年に4回熊本赤十字病院での地域連携カンファレンスに参加しており、他の施設での取り組みや問題点などをお互いに共有しております。5月19日に行われたカンファレンスでは、当院から山田副院長・高野看護師・有住臨床検査技師にて「小国公立病院における感染対策の進捗」と題して報告致しました。今後も更なる感染対策の充実を図りますのでよろしくお願い致します。



発表する高野看護師



職員川柳

このおなか

やってみようか
ライザップ

排水口

見つめて数える
抜け毛の数





くまモン号発車!!

おぐに老人保健施設では、現在約70名がデイケアを利用され5台の送迎車が1日25名前後の利用者の送迎に活躍しています。


そのうちの2台が今年2月、新しい送迎車『くまモン号』に替わり、日々、活躍しています。利用者の皆さんにも大変喜ばれています。

今後も安全運転に心がけ快適な送迎時間を過ごせるようにスタッフ一同頑張っていきます。





まだまだ暑い日が続きます。
休息・水分摂取に心がけ
熱中症に気をつけましょう!!



次回11月2日に平成27年秋号を発行予定です。
お楽しみに!! (広報委員会)